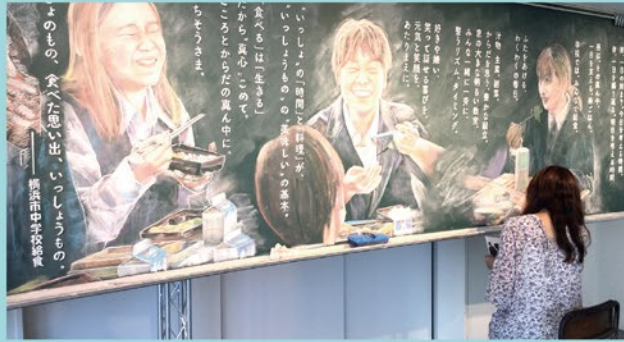


## 横浜市職員採用コンセプトページ

本冊子の詳しい記事や  
WEBサイト独自の企画などを公開中



## 横浜市採用イベント情報

横浜市役所で働く魅力をお伝えする  
イベントについて御案内しています。



## 横浜市職員採用案内ホームページ

職員採用試験・選考情報や説明会情報などを公開中

横浜市 採用



## 公式 横浜市人事委員会事務局 X (旧Twitter)

@yokohama\_ninyo

フォロワー4,000人突破しました！

最新の採用試験・選考情報や説明会の情報などを  
こちらで御確認いただくことができます。



## RECOMMEND

## 公式 横浜市職員採用広報Instagram「始動。」

@yokohama\_recruit

各職場の魅力や職員の声など  
リアルな横浜市役所の魅力を発信しています！



CITY OF YOKOHAMA CAREER PAMPHLET

# 横浜市職員採用案内 2024

# 始動。

人から始まる、まちを動かす



## CONTACT INFORMATION

問合せ先

横浜市人事委員会事務局  
調査任用部任用課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10  
TEL.045-671-3347  
FAX.045-641-2757

当パンフレットに記載されている内容は、  
令和5年12月現在のものです。

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER



子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ

横浜で暮らし、働く全ての人のため、

一人ひとりに寄り添い、共に歩み、

様々な表情を持つこのまちで、果敢に挑戦し、

人も、まちも、企業も共に成長し、

横浜の輝く未来を創造する。



## 選ばれるまちへの挑戦

～377万人の市民の皆様と共に歩む喜び～

横浜市は、「子育てしたいまち」を目指し、子育て世代の皆様「ゆとり」を生み出す取組をはじめ、まちのにぎわいづくりや、「GREEN×EXPO 2027」の成功と脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。自らの仕事で377万人の市民の皆様幸せと暮らしを支えているという手応えは、何事にもかえがたい魅力があります。横浜市では、若い職員が職場の垣根を越え、重要な行政課題に取り組める場も用意しています。「横浜」という大きなフィールドで持てる力を存分に発揮し、困難な課題であっても果敢に挑戦し、未来を切り拓いていく、そうした高い志と熱意を持った皆さんをお待ちしています。



横浜市長

山中竹春

PROJECT  
事業紹介

GREEN×EXPO 2027

事業紹介の続きはこちら



### 世界が注目する大規模国家プロジェクト

国際園芸博覧会は、花と緑のあふれる暮らしや社会的な課題解決への貢献を目的に、これまで世界各地で開催されてきました。今回横浜で開催される本博覧会は、「幸せを創る明日の風景」をテーマに、自然との共生がもたらす幸福感を表現することを目指すものです。

日本において本博覧会のような最上位クラスの国際園芸博覧会が開催されるのは37年ぶり、1都3県においては初の万博となります。開催期間は2027年3月19日～9月26日で、1,000万人以上の有料来場者を見込んでおり、約70の国や国際機関が出展を行う予定です。

### 組織を越えて共に取り組む

現在、横浜市では2027年国際園芸博覧会協会と連携し、会場やその周辺の施設等のハード面の整備を進めています。区役所を含め横浜市全体で協力し、博覧会の成功に向けて、関心や期待、来場意欲を高めるなどの取組を行っています。

また、本事業の主体である博覧会協会には、事務職をはじめ、土木、建築、造園、農業など様々な職種、かつ、職員から部長級まで幅広い職位の横浜市職員が派遣されており、それぞれの知見や専門性を活かして業務を行っています。



### 博覧会の顔となる来場者サービスを提供し快適な会場を創る

私が担当しているのは、会場運営・管理の検討業務で、その取組内容は、来場者サービス、場内清掃・廃棄物処理、警備など多岐にわたります。検討にあたっては、既存の集客施設やイベント等の視察・ヒアリングを行い、運営・管理者視点だけでなく、来場者視点での利便性や快適性も考慮した会場となることを心掛けています。本事業はゼロからのスタートで関係者も多岐にわたりますが、その分事業を進めていく中では、市職員では経験できないやりがいを感じています。来場されたお客様の笑顔を想像しながら、2027年の開催に向けて引き続き業務を推進していきます。

都市整備局（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会派遣 運営部会場運営課）

2018年度入庁 事務



鶴見区 福祉保健センターこども家庭支援課

2023年度入庁 事務

## 市民の方に寄り添った対応を念頭に

担当している主な業務の1つに待機児童対策業務があります。保育所に入所できなかったご家庭に対しては、制度やマニュアルを踏まえつつも「保護者の希望を少しでも叶えられる提案は何か」をチームでことごとく議論(または追求)するようにしています。そのため「傾聴力」と「正確な知識」が重要になると日々実感しています。

「ありがとう」「おかげで助かりました」というお言葉をもらうこともあり、自分の業務が市民の方のためになっているのだと実感でき、やりがいを感じています。

## 自己開発から市の成長へ

日々異なる様々な業務を、緊急性や重要性等から優先順位をつけて、ToDoリストを用いるなどして、期限までに不備なく遂行することに尽力しました。そのため、タイムマネジメント力が身に付いたと感じています。今後は、先輩として仕事を教えられるくらいに、私自身が業務に必要な知識や「コミュニケーション能力」「情報収集能力」等の能力を身に付けることが目標です。そのために、新しいことは根拠法令等を含めて多くのことを関連付けて覚えるようにしています。もちろん、その先には市民満足度を高めること、ひいては横浜市の発展を創造することが目的にあります。目的達成のため、日々の業務を通して一步一步自己開発に努めたいです。

## まちの発展を創造したい！

市外出身の私は、便利で快適な都市機能と港を含む心地の良い環境を併せ持つ横浜市を魅力的に感じていました。そんな街の発展を見据え、市民の方々と一緒に未来を形作る仕事をしていきたいと思志望しました。また日本最大の基礎自治体であるからこそ、多岐にわたる業務経験ができることも魅力的1つでした。仕事をする想いや目的はあるものの「この分野で一生仕事をしていきたい」というところまで決心できていなかった私にとって、あらゆる分野で経験を積み、成長実感を得られることがやりがいにつながると考えました。

加えて「人材こそが最大の経営資源」と掲げている横浜市だからこそ、受け身ではなく自分で考えて積極的に働くことができる環境があると考えました。



## Daily Schedule

- 08:30 [全体朝礼] 課全体で連絡事項等を共有
- 08:45 [係内朝礼] 係内で連絡事項等を共有
- 09:00 [研修] 担当者研修を市庁舎で受講
- 12:00 [昼休憩] 同僚とランチ
- 13:00 [メール確認] 区役所に戻り、必要なタスクを把握  
ToDoリストを作成
- 13:30 [資料作成] 会議に必要な資料を作成
- 14:00 [会議] 保育所に入所できなかったそれぞれのご家庭へ  
ご案内可能な代替案をチーム内で検討
- 16:00 [利用調整業務] 保育所入所の申請書を審査
- 17:15 [退勤] 職場の近くのジムで筋トレをして帰宅



道路局 建設部橋梁課

2023年度入庁 土木

## 人と人の架け橋に

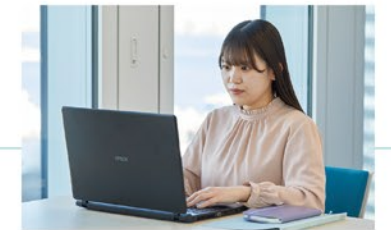
主に橋梁の老朽化対策や地震対策を担当しています。業務としては、橋梁の補修・補強に関する設計、工事発注及び関係機関との協議等がありますが、どの業務においても技術的な判断を求められることから日々の勉強は欠かせません。また、横浜市では1,700橋を超える橋梁を管理しており、市民の方々の生活にも密接に関わっています。暮らしや地域に深く溶け込んでいる橋梁を適切に維持管理することで、人と人とのつながりを陰ながら支えたいと思っています。

## 初心を忘れずに

入庁直後は、大学で学んだ構造や材料等の土木工学の知識を活かして仕事ができるか、焦りや不安を感じていました。しかし、先輩方の親切なサポートを受けながら、徐々に課題を紐解くこと等学び、現在では難しい仕事もやりがいや楽しさを感じながら取り組めるようになってきました。大学で学んだ内容は、業務内容を問わず基礎知識として必要であり、土木職として働く上で土台になっていると感じています。今後は、研修や日々の業務を通じて、自らの能力や知識等のスキルを高め、失敗を恐れず何事にも挑戦していきたいと考えています。そして、安全・安心で暮らしやすい横浜のまちづくりの実現という、市民の方々の大きな期待に精一杯応えていきたいです。

## 安全・安心で快適な暮らしの実現

土木を専攻した理由は、過去に台風の影響で長期間の停電や土砂崩れなど、自然災害の恐ろしさを体験したことがきっかけです。正確な情報が得られず不安な生活を送る中、復興の要である道路が最後の命綱のように感じ、災害時のインフラの重要性を実感しました。この経験を通して、人々の安全・安心な生活を実現する「社会基盤づくり」に関わる仕事がしたいと考えようになりました。横浜市は、伝統的な建造物が残る都市部と自然が調和された街であり、多様な住環境が特徴的です。横浜市役所なら「まちづくり」における様々な仕事に関わることができることから、歴史ある街並みと緑を残しながら、発展を続ける都市を創り、そして守りたいという自身の想いが実現できると考え、志望しました。



## Daily Schedule

- 08:00 [出勤] フレックスタイム制を利用し、  
30分早く出勤
- 09:00 [朝礼] 課内でスケジュールや連絡事項等の共有
- 11:00 [作業] 打合せ資料の作成、  
先輩職員に業務内容の相談
- 12:00 [昼休憩] 同期職員とランチ
- 14:00 [打合せ] 設計委託業務の進捗確認
- 15:00 [作業] 議事録の作成、  
打合せ内容について上司へ報告
- 16:45 [退勤] フレックスタイム制を利用し  
30分早く退勤できるので、  
一駅歩いて帰り、趣味の散歩を  
楽しつつ運動不足も解消

## 職務概要



## 事務

区役所や局などに配属され、一般行政事務に従事します。



## 社会福祉

区役所や児童相談所、社会福祉施設などで指導員や相談員として、指導、相談、調査などの業務に従事します。



## 心理

児童相談所や教育委員会事務局などで、相談・支援及び心理診断、心理治療などの業務に従事します。



## デジタル

ICT活用施策の企画立案及び行政デジタル化の推進、庁内各種システムの開発・運用等に関する事務に従事します。



## 衛生監視員

医療局や区役所などで、食品関係施設や環境衛生関係施設などに対する監視指導・検査や、動物の保護管理等の業務に従事します。



## 土木

総合的な都市整備や、道路、河川、上下水道、港湾、地下鉄などの計画・建設において、土木関係の専門的技術の業務に従事します。



## 建築

総合的な都市整備や、公共施設(庁舎・学校・地下鉄など)の建設、開発・建築指導などの業務に従事します。



## 機械

廃棄物処理施設や下水処理施設、市営住宅・庁舎、浄水場、地下鉄車両などの機械設備について、設計・管理などの業務に従事します。



## 電気

廃棄物処理施設や下水処理施設、市営住宅・庁舎、浄水場、地下鉄車両などの電気設備について、設計・管理などの業務に従事します。



## 保健師

区役所などで保健福祉に関する相談・支援、地域活動を通じた市民の健康づくりのサポート、感染症対応等の健康危機管理業務に従事します。



## 保育士

保育所、一時保護所、児童養護施設、母子生活支援施設などで保育業務に従事します。



## 司書

図書館などにおいて司書として資料を収集し、分類整理するほか、資料の貸出、読書の案内や相談などの専門的業務に従事します。



## 学校事務

市立の小・中・義務教育・特別支援学校で学校事務(庶務・経理・給与事務など)を通じた学校経営への参画に従事します。



## 学校栄養

小学校・義務教育学校・特別支援学校などで、学校給食の献立作成、栄養指導など給食管理全般に関する業務に従事します。



## 農業

都市農業の振興や緑地の管理、農業専用地区や土地改良区に関する業務などに従事します。



## 造園

都市公園や緑地、街路樹に係る設計・工事監督・維持管理及び開発に伴う緑化協議などの業務に従事します。



## 環境

工場の規制指導、大気・水質の分析、上下水処理の水質管理、生態系や環境保全のための調査研究、環境施策に係る業務に従事します。



## 水道技術

水道局において、水道施設や給配水管の維持管理など、水道事業に係る専門的技術の業務に従事します。

横浜市職員採用  
コンセプトページ  
(WEBサイト)にて、  
各職種のQAなど  
詳しい記事を公開中！





PROJECT  
事業紹介

西谷浄水場  
再整備事業



事業紹介の続きはこちら

未来に向けて より強靱・安全で親しみやすい 西谷浄水場へ

西谷浄水場は、横浜駅周辺やみなとみらいなど市内の約4分の1の給水量を担う重要な施設です。西谷浄水場では、施設の老朽化や耐震性に課題があることや、水源水質の悪化に対応する必要があること、水利権水量に対して浄水場の処理能力が不足していることから、「施設の耐震化」、「新たな浄水処理方法の導入」、「処理能力増強」を目的に、再整備の工事を行っています。この事業は、施工難易度が高いなどの特殊性から、民間の技術やノウハウを活用して工期短縮やコスト削減が期待できるDB方式等を採用し、総額は1,000億円を超え、完了は令和14年度を見込んでいます。



**建築** 水道局 西谷浄水場再整備推進室 再整備推進課  
2020年度入庁

私は建築職の職員として、主に建物の新築・解体工事を担当し、設計・工事の内容確認や発注者として必要な申請業務等を行っています。特に設計・工事の内容確認では、完成した建屋に浄水場運用のための機械を設置しますが、施設の運転管理は機械・電気関係の職員が行うため、職種の垣根を越えて連携し、運転する人の目線に立って使いやすいレイアウトを検討してきました。また、浄水場内に大正4年から現存する6棟の国登録有形文化財の、曳家による移設工事も担当業務の一つです。文化財を活用し、市民の方に親しまれる浄水場を目指しています。



**土木** 水道局 西谷浄水場再整備推進室 再整備推進課  
2019年度入庁

私は土木分野の設計確認や施工管理、局内外の調整を行う工事監督業務を担当しています。工事現場は職場の目の前にあるため、毎朝事業者とのミーティングで当日の作業を確認し、立会いがあればすぐに現場に駆け付けます。また、事業者が設計を進めるうえで必要な図面や資料があれば速やかに提供し、相談があれば維持管理を担う職員と協議し、対応しています。浄水場は土木・建築・電気・機械の各分野の専門知識を結集した施設で、どの職種も欠かすことはできません。土木は「OK」でも他職種は「NG」とならないよう、日頃から情報共有し連携して工事を進めています。



特別企画

INTERVIEW  
技術職員インタビュー

4職種の技術職員に、  
仕事を通じて成長できたことを  
聞きました。



インタビューの続きはこちら



**建築(係長)**  
交通局  
工務部建築課  
2010年度入庁

区役所で担当した複合公共施設「SAKAESTA」の整備は、施設整備に係る財源確保が非常に難しい中、市でも前例のない施設を、民間の新規開発事業用地に整備するという計画で、市役所内の各部署との調整・民間事業者との協議のいずれもハードルが高い事業でした。担当したのは新任係長の私と入庁2年目の若手職員で、全くの未経験コンビでした。整備コスト削減のために大幅に施設面積を削りつつ、使い勝手や魅力を損なうことがないように、平面プランを2人で何度も描き直し、関係各所と検討を重ねました。当初は自信なさそうだった職員が、事業が進むにつれて自信をつけ、私の異動後も事業推進の中心的な役割を担って整備完了までやり遂げてくれました。係長として、チームで取り組む醍醐味を最も感じられた仕事でした。



**土木**  
道路局  
河川部河川企画課  
2016年度入庁

横浜市が運営するDX推進の取組の一つである、「YOKOHAMA Hack!」を活用して、民間企業が有するデジタル技術を募集し、「河川等の土砂堆積量の把握と分析」に関する課題解決に向けた実証実験を行いました。この取組では、民間企業が持つAIを用いた画像解析の技術を活用し、土砂堆積量の把握と分析において、業務の生産性向上の効果を実証することができました。この経験から、デジタル技術を取り入れた課題解決の可能性の大きさを学びました。維持管理の分野には、アナログ的に目視で点検を行い、記録を紙に残すような業務が今も多くあります。新たな技術を活用し、横浜市が抱える様々な課題解決に向けて、これからも取り組んでいきます。



**機械(係長)**  
資源循環局  
政策調整部政策調整課  
2008年度入庁

新たな廃棄物最終処分場建設事業において、旧処分場が満杯に近づく中、機械職の担当として、他の職種の職員や業者とも調整しながら、「計画どおり着実に良い物を作りたい」という一心で、工事の設計・監督をやり遂げたことで、技術的スキル以外にも調整力や責任感が養われました。係長になってからは、自分のことだけでなく、年齢、考え方や経験が様々な職員が、どうしたら納得し、育ち、楽しく仕事ができるかを念頭に職場運営に努めています。良い雰囲気やチーム力を感じた時、責任職として少しは役に立ち、成長したかなと思えます。収集事務所で100人以上を前に朝礼するなど、人前で話す機会も増えており、機械を相手にするのは違う難しさもありますが、これからも日々成長していきたいです。



**電気**  
教育委員会事務局  
施設部教育施設課  
2017年度入庁

初めて学校の増築工事という大型案件を任せていただいた際に、成長を感じることができたように思います。当時は設計者や業者が話す専門用語等もよくわからず、とにかく仕事をこなすことで精いっぱいでしたが、わからないことは聞き、自分で調べたり様々な現場に足を運んだりなど知識を深めることで、どうすればより良くできるのかを考え、実践できるようになりました。また、業務に慣れてくると、後輩に仕事を教えることもありますが、自分の復習にもなり、新たな発見も多くあると感じています。これからは、多岐にわたる知識の習得を達成したいです。電気職としての知識はもちろん、ほかの分野の方々とも仕事をする機会も多いので、様々な資格取得に挑戦していきたいと考えています。